

◆不老集

絶筆に佛の一字さみだるる

棚田みな石垣をもち梅雨に入る

藺草 慶子

田中三二良

梅雨晴や暮れていつまで人の声

箱庭の中なる一の鳥居かな

岩田 由美

野上けいじ

声のみの母の夢見て明易し

川涼し矢立初の碑と我と

金谷 洋次

橋本 久美

かき混ぜて浮かぶ生姜や冷し飴

門抜けば大味噌蔵の香の涼し

岸本 尚毅

松村 幸一

雨の掌に包みて余る牡丹かな

図書館の窓大きくて花万朶

小坏 健水

茂木 泉

ばらばらに同じ流れを花筏

螢袋色の濃きものうすきもの

坂本 靖夫

山口梅太郎

木戸あけて川ある茅花流しかな

ランドセルいつしか馴染み夏来る

鈴木 豊子

若松 明弘